

園地見回りのお願い

クビアカツヤカミキリから桃を守るために！

樹から出る「フラス」を探してください！

直径5 cm程度の枝まで確認

重点チェック箇所（フラスがよく発見される箇所）

分岐部

主幹部

株元

点検は一度ではなく、
時期をずらして複数回
行うのが効果的です！

フラスの見た目のポイント

- ・フラスは排出口から押し出され、挽肉状とかかりんとう状と言われる状態になる。
- ・フラスは幼虫の大きさによって、太さや量が大きく変わります。

フラスが見つかったら

まずは連絡！

被害の拡大を防ぐには、**早期発見・早期防除**が重要です！
フラスを確認した場合は、まず下記の機関へご連絡を！

お近くの農業普及指導センターもしくは岡山県病害虫防除所(☎086-955-0543)
岡山県農産課安全農業推進班(☎086-226-7422)

・状況写真の撮影と、どの樹か分かるように目印の設置をお願いします。

幼虫の刺殺

フラス排出孔周辺の樹皮をはがし、針金などを差し込んで、幼虫を刺殺します。

【ポイント】

- ・刺殺に使う針金は、先端を少し曲げ、引っかかりを作っておく。
- ・針金の先を中に入れてフラスを掻き出した後、突き当たったところで2～3回回して、引っ張り出す。



フラス排出孔からの刺殺



刺殺に使う針金

針金の長さは35 cmほど

樹幹部へのネット巻き付け

翌春の成虫の拡散を防ぐために、樹をネットで覆って、成虫が外に出られなくするための措置をします。

- ・フラス排出口の上50 cmから地際まで、樹幹部にネット（目合い4 mm 以下）を巻き付けます。

※5月以降に見回りを行い、ネットの中に成虫を見つけたら、その場で金づちでたたく等して捕殺します。



樹幹部にネットを巻き付けた様子

ネット巻きは、**拡散防止・侵入防止**に有効！